

成人用肺炎球菌ワクチンの選択について

肺炎球菌は肺炎の原因となる細菌として最も重要なものです。
肺炎球菌には90種類以上の型がありますが、ワクチンで大部分が予防できます。

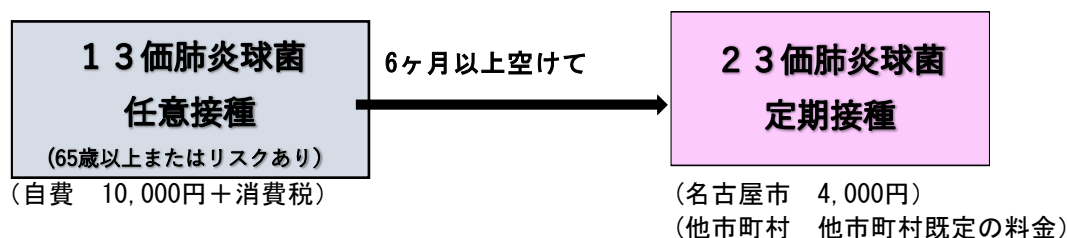
2種類のタイプがあり、それぞれの特徴があります。

23価肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）	13価肺炎球菌ワクチン（プレベナー）
<ul style="list-style-type: none"> ● 23種類の型に対応（約2/3をカバーしている） ● 定期接種として接種することができる （定期接種対象者以外は任意接種となる） ● 免疫記憶は付きにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 13種類の型に対応（約1/2をカバーしている） ● 定期接種としては接種できない 65歳以上及び肺炎球菌罹患リスクのある方に任意接種できる ● 免疫記憶が付きやすい

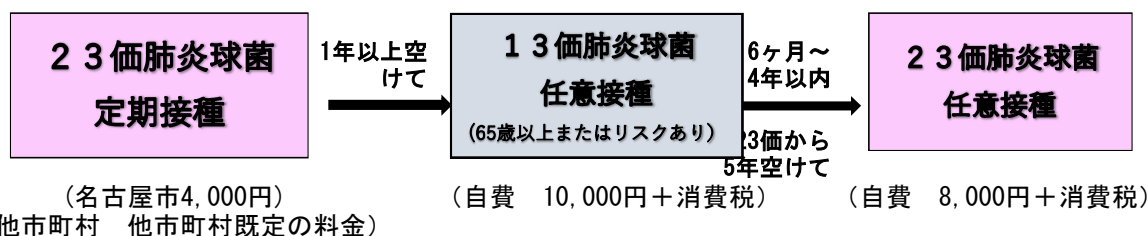
※2020年5月末、肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高い方々にも13価の接種が可能となりました。
それぞれの長所、短所があるため、2種類のワクチンを組み合わせて接種されることをお勧めします。
以下がお勧めの接種方法です。

●初めての肺炎球菌ワクチン接種の方

方法① 65歳以上または肺炎球菌罹患のリスクがあり、定期接種または名古屋市の助成で接種できる方
（一番お勧めの方法です）

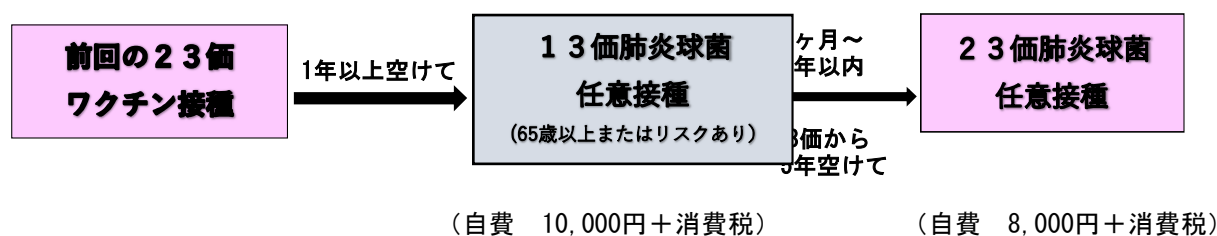


方法② 定期接種または名古屋市の助成で接種できる方
（取り敢えず定期接種を考えている方にお勧めの方法です）



※定期接種対象外の方は任意接種として自費で、上記①または②の方法で接種できます。

●既に23価肺炎球菌ワクチンを接種したことのある方



インフルエンザで起こる肺炎の6～7割は肺炎球菌によるものといわれています。

インフルエンザワクチン接種時には一緒に肺炎球菌ワクチンもご考慮ください。肺炎予防に有効です。

ご不明な点がありましたら、スタッフにお気軽にご相談ください。